

高石市議会議員 山敷めぐみ 議員活動報告



# めぐみ通信

Vol. 20

2015(H27)年11月

## 市プレミアム商品券は 公平に市民に届きましたか？

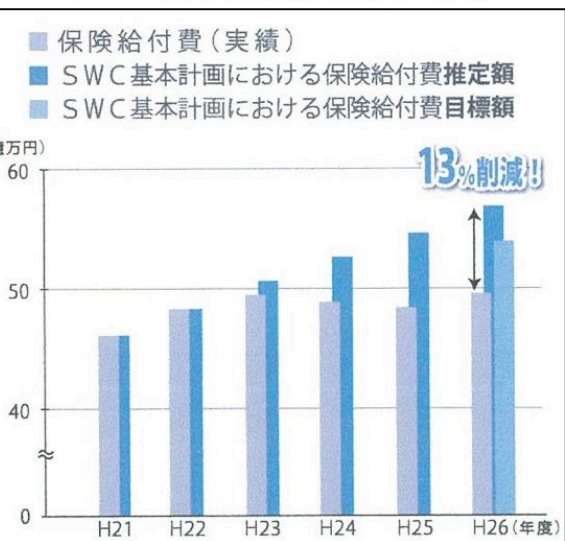
目次	
P.2	SWC 計画について
P.3～4	9月議会トピックスなど

高石市ではプレミアム商品券は先着順で販売されました。初日は炎天下、2日目は雨の中、早い方は早朝5時前後より並んでの購入となりました。6月議会で抽選での販売を強く求めた私の発言に対する市の答弁は「市民一律に販売する」というものでした。「一律（平等）」と「公平」は全く違います。『高齢である』『障害がある』『小さい子どもが居る』などの並べない事情がある方にもチャンスがある行政運営こそが「公平な行政」であり、いかなる理由があろうとも「一律」に扱うというのは極めて「不公平」な行政運営です。行政が指定した日時に指定した場所に並べる人にだけ販売する、というような不公平な方法を選んだことは全く納得できることではありませんでした。

ちなみに堺市は抽選で販売し、さらに子育て世帯は優遇がありました。和泉市は先着順でしたが、子育て世帯・高齢者世帯・障害者のいる世帯には葉書送付により優先販売がありました。泉大津市・岸和田市などは抽選販売でした。高石市には公平な行政運営を強く求めます。

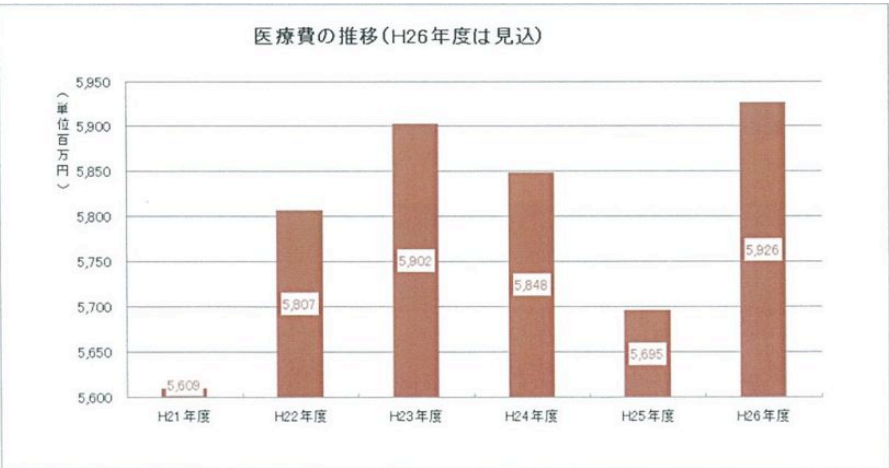
## 広報9月号のSWCグラフに隠されているものは…

### ■保険給付費(決算額)と SWC基本計画推定値の推移



左のグラフは広報9月号に掲載されたものです。SWC（スマートウェルネスシティ）基本計画によって大きな効果があったかのように見えますが・・・

実際は下のグラフの通り。残念ながら医療費は増額！



詳しくは次のページへ...

医療費全体で見ると、平成23年度から平成25年度まで減少しましたが、平成26年度の見込みでは増加に転じています。

## 》》SWC（スマートウェルネスシティ）計画で市民は健康に？《《

左のグラフの基は「スマートウェルネスシティ（SWC）計画」です。これは平成23年度から26年度までの計画で、つくばウェルネスリサーチ（以下TWR）という株式会社に200万円を支払って策定してもらいました。健康教室参加者を1,000人にして-8,000万円、“せせらぎ”など市民が歩かされてしまうまちづくりによって市民が健康になり-1億2,000万円、合計2億円の医療費を抑制する計画でした。

しかし、前のページの右側のグラフ（基は市のデータヘルス計画）の通り、SWC計画の始まった平成23年の医療費は59億200万円だったのに、計画最終年度の平成26年には59億2600万円に増加しています。その大きな要因は高額な医療費を必要とする重症患者の増加です。もっとも基本的で大切な『健診受診率の向上による重症化予防』などがおろそかになり健診受診率も低迷（市22.3%/国34.3%）。そして医療費が増えた結果、高石市は今年度大阪府内で一番高い国保料になってしまいました。「3年後に2億円の医療費抑制効果が見込める」としたSWC計画は失敗だったのではないのでしょうか。

前のページ左側の広報に掲載されたグラフは保険医療課が作成したもので、あたかもSWC基本計画による効果で医療費が削減されたような印象を与えますが、実際は右側の国民健康保険課が作成したグラフの通り、百万円単位で見ると医療費は増えています（広報のグラフの単位「億万円」は「億円」の間違いだと思われます。なお保険給付費というのは医療費から本人負担分を引いたものです）。

※「13%削減」とあるのは、そもそも毎年2億円医療費が増えると市側が勝手に仮定して、その予測値から13%少なかっただけです。それを“削減”と言って良いのでしょうか？

そんな中、阪口市長をはじめ市職員は何度もSWC計画のために東京などに出張し、(株)TWR社長でもある久野譜也筑波大学院教授が司会・事務局を務める会議などに出席しています。平成22年度から26年度までのSWC関連の出張旅費の総額は425万円を超えます（平成26年度は約115万円）。

また(株)TWRが運用する「健康クラウド」にも昨年は572万4,000円、今年は計画年度が終了しているにも関わらず539万2,000円もの利用料を市民の税金で支払います。その他にも(株)TWRには健康教室に関して平成26年度だけで約460万円を、コナミには教室委託料約764万円を払っています。

さらに、市民が「歩かされてしまう仕掛け」として作られた、水道水を流す「せせらぎ」の水道光熱費などは運用開始から今年7月までで約629万円！（平成26年度は約341万円）。

まさしく“湯水のごとく”市民の税金がSWC計画に使われ（平成26年度だけでも約2,252万円！！）、人手も掛けているのに、効果が上がっているとは思えません。

これらのことを市民から見えにくくするために都合の良いグラフを掲載したとしたら大問題です。山敷は、市民の『健康』からは程遠いSWC計画からは一刻も早く離脱し、高石市独自の健康施策を進めることを求めています。

## 》》9月議会トピックス《《

～山敷は以下の発言をしました～

【1】「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検並びに評価結果報告書」について、点検評価なのに殆ど数値化されていない。周辺他市はすべて数値化。教育委員会も市も事務事業評価として数値を用いる手法を取り入れ、費用対効果の検証を客観的に行うべきでは？

【2】マイナンバーが導入されるが、漏洩の危険性について対応策が不十分。そもそも必要性も認められない。よって、これに関する議案（2号・3号）には反対する。

【3】決算認定には反対しました。理由の主なものは以下の通りです。

- 妊婦健診補助金額が**府内最低額**。このような状況が子育て世代の流出の一因。善処すべき。
- 内閣府に派遣した職員の**宿舍料**など約160万円の支出。しかし、派遣報告書の提出が義務づけられておらず、検証できるものが何もなく、庁内での情報共有も出来ないことには納得できない。
- 羽衣天女事業ということで歴史的背景もない天女や漁師の衣装でイベントに登場するために約17万円。またシーサイドフェスティバル（花火）に市税800万円とフェスティバル積立金（高石まつり積立金の残金）190万円が使われたが、うち警備費が約600万円。いずれも費用対効果の検証もされていない。今の高石市にとって必要な事業とは思えない。**他に使うべきところがあるのでは？**
- SWC 事業の特に健康クラウドについて有効性が確認できず個人情報保護の観点からも反対する。
- 毎回指摘しているが、市の広報が自治会加入世帯にしか配布されない現状は広報発行規則に反している。避難マップも含め市内全世帯への配布を早急を実現すべき。
- 何より問題なのは事務事業評価がなされておらず、掛けた予算に対しての効果が数値で検証できない。次年度からの適正な対応を強く求める。

【4】一般質問は、これから策定される「総合戦略」を中心に質問しました。

- 総合戦略の策定について。今後の高石市を左右する重要な戦略。市民の声を直接反映させるために公募委員（市民から委員を募集する方法）の導入を！
- 私は以前より高石のブランドを「教育充実の市」にして、地域の高齢の方々の豊かな経験や、自治会・PTAなどの子ども達を取り巻く大人の温かい目線を学校教育の場に生かすために「コミュニティスクール」の導入を提案している。総合戦略において学校を地域のプラットフォームに！
- 高石市では津波火災の心配がある。大阪府の想定でも内陸部への延焼の可能性が指摘されている。早急に**津波避難計画**を策定し、浸水想定区域の住民が実際の災害時に避難する場所での訓練を行うことを要望する。また総合戦略に防災に関する記述も盛り込むことも併せて要望する。

【5】その他 [高師浜駅前が始まる臨海地区への通勤バスの運行について]

当初ブランド戦略で予定されていた案（羽衣バスターミナル全面移転）とは全く違う内容である。高師浜線活性化を目指すには効果が薄い。通学時間帯なので危険性もある。もう一度戦略を一から見直し、市税の使途として市民のニーズに合っているかどうかの検証を！

◆高石市議会、委員会の開催  
順巡り混乱 高石市議会で11  
日、開催予定だった予算委員会  
に市長ら理事者側が出席せず、  
委員会が開かれなかった。  
議会事務局などによると、同  
日午前から開かれた福祉土木委  
員会が休憩になり、正副委員長  
と市長側が午後からの再開で合  
意。しかしその後、議会側が福  
祉土木委ではなく予算委を開催  
する方針を決めた。市長側は福  
祉土木委の開催に向けて待機  
し、両者の折り合いがつかなか  
ったという。  
同市議会では、この委員会を  
先に審査するかは慣例で議長に  
一任されている。

9月議会2日目の午後、予算委員会開催ということで委員会室に入ったら議員しか居ません。通常なら着席している筈の市長・副市長をはじめとする職員が殆どおらず、数名だけ先に着席していた職員もなぜかそそくさと委員会室を出ていくのでした。…実は午前中開催の福祉土木委員会で議案の審議中、行政に資料を出してもらわないと分からないことが出てきて、資料の提出を要求し休憩に入りました(私は委員ではなく傍聴していました)。

しかし、十分な資料が提出されなかったようで、先に予算・決算を審議し、その中でその議案の内容についても確認して最後にもう一度福祉土木委員会を開催しよう、ということになり、行政側にも伝えた上で予算委員会の開催となったのですが、結果は報道の通り…。さらにこの件では、共産党とクリア高石(寺島議員と山敷の会派)以外の控室には行政から別の資料が配布されていたことも分かりました。決算委員会で私が追及すると謝罪があり、その資料は回収されたようです。いずれにしても、市民の視点から見たら筋の通らない事が多く、改めて阪口市長には公平で公正な行政運営を求めたいと思います。

## お知らせ

山敷めぐみ事務所(伽羅橋駅前)は、原則として第2・第4土曜日の午後2時からオープンしています。

その時々でテーマを決めて講師をお呼びして話をさせていただいたり、山敷が高石市政や議会の話をしたり、皆様とのフリートークをしたりしています(11月は議会報告会開催のため、事務所のオープンは1回だけとなります)。

\*資料等の準備の都合上ご連絡いただいたうえで、どうぞお気軽にご来場くださいませ。

いずれも午後2時からです。

11月21日(土)…フリートーク(めぐみ通信には書ききれなかったあれこれなどを…)

12月12日(土)…子育て・教育の話を中心に元小学校教諭の方に伺う“サロンプラネット”開催

19日(土)…第4回 憲法カフェ in 伽羅橋(市内在住の若手弁護士を招いて)

## 第16回 クリア高石 議会報告会

11月 14日(土)

午後3時半～ パンセ羽衣(羽衣公民館)3階

午後7時～ とろしプラザ(取石公民館)3階

どうぞお気軽にお越しくださいませ

発行： 山敷めぐみ(所属会派：クリア高石)

事務所：高石市羽衣5-14-13

072-262-3979

megumi28@gmail.com

WEBサイトもご覧ください

<http://yamashikimegumi.com>